

石川県原子力環境安全管理協議会 議事概要

1. 日 時：平成22年3月18日（木） 午後1時30分～午後2時56分

2. 場 所：石川県庁 行政庁舎 11階 1109会議室

3. 出席者：21名（名称略）、事務局、説明者他

4. 議事概要

（1）原子力安全・保安院より、志賀原子力発電所の原子炉の設置変更（タービン保管庫の設置）に係る安全性について説明があった。

（委員）取り外したタービン等を容器に密閉する作業は、保管庫で行うのか、タービン建屋で行うのか。

（保安院）タービン建屋で行うと聞いている。

（委員）建物（タービン保管庫）の壁材はどんなものか。

（保安院）具体的な仕様については、今後の詳細設計の段階で決められるが、打ち出し成形セメント板で、コンクリートパネルのような物と聞いている。

（委員）タービンにはどういう核種が付いているのか。

（保安院）コバルト60等。

（委員）どれくらいのレベルか。線量はあるのか。

（保安院）外した物（タービンロータ等）は、検出限界以下となる0.0005mSv/h程度まで除染を行うと聞いている。

（委員）資料中のマイクロの文字の書体が全部イタリック体（斜体、 μ ）になっている。これはローマン体（立体、 μ ）が正しい。

（保安院）以後気を付けたい。

タービン保管庫の設置については、「本協議会において異論なし」と取り纏められた。

（2）北陸電力より、志賀原子力発電所の運転状況等（運転状況等四半期報告（平成21年度第3四半期）、運転状況等報告（平成21年12月9日協議会以降）、平成22年度運転計画、ヒューマンエラーの低減・防止の取り組みの強化及び発電設備に関する再発防止対策の実施状況）について説明があった。

- (委員) 排ガスモニタと炉水中のヨウ素のデータの公開については運転中のみか。また値が変動した場合の説明が重要だと思う。
- (電力) データの公開時期は発電機の並列から解列まで。また通常、警報設定値や保安規定値に比べて非常に低い値での推移であり、有意な変化はその都度、何らかの形で説明したい。
- (委員) モニタリングポスト故障について、この検出器はNaIか。またどのような保守管理をしているのか。
- (電力) 故障した低レンジモニタはNaIのシンチレーション。高レンジについては電離箱。計測器としては15年位耐用年数があり定期的に交換するもの。今回は交換後それ程時間が経ってなく、偶発的な故障と考えている。
- (3) 事務局より、志賀原子力発電所周辺環境放射線監視結果報告書(案)(平成21年度第3報)、志賀原子力発電所温排水影響調査結果報告書(案)(平成21年度第2報)(夏季)について、説明があった。
- (委員) 黄砂に中国の核実験のフォールアウトが付着して飛来する可能性があるもので、線量に反映されるのかどうなのか、注意深く見て欲しい。
- (4) 事務局より、志賀原子力発電所周辺環境放射線監視基本計画及び志賀原子力発電所温排水影響調査基本計画の改定について、説明があり、原案どおり承認された。
- (5) 事務局より、平成22年度の志賀原子力発電所周辺環境放射線監視年度計画及び志賀原子力発電所温排水影響調査年度計画について、説明があり、原案どおり承認された。
- (6) 原子力安全・保安院志賀原子力保安検査官事務所から、平成21年度第3四半期保安検査結果等について、説明があった。
- (7) 事務局より、前回及び前々回の議事概要について、ホームページに掲載している旨、報告があった。

－ 以 上 －